

八戸工業高等専門学校	開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	書道B(0275)
科目基礎情報				
科目番号	0115	科目区分	一般 / 選択	
授業形態	実技	単位の種別と単位数	学修単位: 1	
開設学科	産業システム工学科マテリアル・バイオ工学コース	対象学年	1	
開設期	後期	週時間数	1	
教科書/教材	書 I (光村図書)			
担当教員	齋 麻子,野里 紀子,米田 巧			

到達目標

- ・ 書の基本を理解し、暮らしの中に生かすことができる
- ・ いろいろな書体やバリエーションを駆使して自由な発想で作品を創作することができる
- ・ 臨書を通して書の歴史と書の奥深さを理解できる
- ・ 書を愛好することができる

ループリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	書の基本を理解し、自発的に暮らしの中に生かすことができる	書の基本を知り、暮らしの中に生かすことができる	書の基本を理解できず、暮らしの中に生かすことができない
評価項目2	いろいろな書体やバリエーションを駆使して自由な発想で作品を創作することができる	いろいろな書体やバリエーションを駆使して作品を創作することを知っている	いろいろな書体やバリエーションを駆使して自由な発想で作品を創作することができない
評価項目3	臨書を通して書の歴史と書の奥深さを理解できる	臨書を通した書の歴史と書の奥深さを知っている	書の歴史と書の奥深さを理解できない
評価項目4	書を積極的に愛好することができる	書を愛好する意味を知っている	書を愛好することができない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	・小・中学校の書写から書道への移行として、漢字と仮名の調和と平仮名、片仮名の多様な表現を身につけさせる。 ・漢字の成立と変遷について理解させ、古典の臨書の鑑賞と実技で理解を深める。 ・日常に役立つ文字を書けるようにするとともに、書を愛好する心を育てる。
授業の進め方・方法	・用具・用材による表現の変化や紙面構成のバリエーションの学習から、創作作品につながる構想を持たせ、作品を自由に作らせる。 ・臨書で古人の作品に触れ、実技を通して書の歴史を知る。 ・落款印や和綴じ本、写経の制作を通して、一つの作品を作り上げる達成感を体験させる。
注意点	・「漢字仮名交じり文」を通して用具用材の適切な使い方、書く時の姿勢、執筆法などの重要性を理解すること。 ・実技だけでなく、書の歴史を知ることにより、書の奥深さを感じ取ること。 ・日常生活に役立ち、文字を書くことの重要性を知ること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	篆刻 1 ・篆書について	
		2週	篆刻 1 ・篆書について	
		3週	篆刻 2 ・印稿作成	
		4週	篆刻 2 ・印稿作成	
		5週	篆刻 3 ・布字	
		6週	篆刻 3 ・布字	
		7週	篆刻 4 ・刻、押印	
		8週	篆刻 4 ・刻、押印	
	4thQ	9週	創作 1 ・一字書	
		10週	創作 1 ・一字書	
		11週	創作 2 ・漢字かな交じり文	
		12週	創作 2 ・漢字かな交じり文	
		13週	実用書 2 書というもの	
		14週	実用書 2 書というもの	
		15週	・一年間の書道の授業を振り返って	
		16週	・一年間の書道の授業を振り返って	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					

	提出作品	用具の準備・取り組む姿勢	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100